



「ほりぬきがひらいた未来」

小学4年生 河口湖新倉掘抜の学習



⑤

町立教育センターでは、地域を生かした体験活動プログラムを行っています。今年度も、町役場等の社会科見学、西湖野鳥の森での木工教室、水道課および管路管理総合研究所と連携した水の学習出前授業を実施してきました。10月から11月にかけては、河口湖新倉掘抜の学習を実施しました。この学習は、町内の小学4年生を対象に、計5時間の授業で行われました。

1・2時間目は、富士山科学研究所と連携した授業でした。講師は富士山科学研究所の先生方です。「富士山の形と成り立ち」と「富士山の周りの地理的条件」を学びました。富士山の周りの地形や川の様子を知った子どもたちは、「なぜ河口湖新倉掘抜はつくられたのか？」を、科学的な視点に加え昔の河口湖の周りに住む人たちや新倉村に住む人たちの気持ちや願いを想像しながら考えることができました。



富士豊茂小 4年生の授業の様子

溶岩の中を水が通った！！



河口湖新倉掘抜は、河口湖の水を新倉村へ引くために170年もの時をかけてうそぶき山に沿って掘り抜いた全長3.8kmの日本最長の手掘りトンネルです。「なぜ、苦労してこのような手掘りトンネル工事を行わなければならなかったのか？」その後、



①勝山小 記念碑見学の様子



杉本 悠樹さん

「なぜ、県庁隧道・東電うそぶき放水路・うそぶき治水トンネル・新倉河口湖トンネルはつくられたのか？」これらの「なぜ？」を学びに、子どもたちは実際に河口湖新倉掘抜の見学に出かけました。

3～5時間目の見学では、昨年度に引き続き今年度も生涯学習課係長文化財担当の杉本悠樹さんに講師を務めていただきました。①河口湖新倉掘抜記念碑→②県庁隧道→③うそぶき治水トンネル→④東電うそぶき放水路取水口→⑤河口湖新倉掘抜出口→⑥東電うそぶき放水路放水口→⑦新倉河口湖トンネルの順で見学しました。残念ながら史跡館が閉館したため掘抜の入口（河口湖側）は見ることはできませんでしたが、出口（新倉側）は見ることができました。子どもたちは実際に掘抜を見たことで、現代のように機械がない時代に人力で約4kmも掘っていくことがいかに大変だったかを感じられたと思います。



② 大石小・河口小 県庁隧道見学の様子



③ 西浜小・大嵐小・富士豊茂小 うそぶき治水トンネル見学の様子

見学を通して、長い年月の努力や苦勞を重ねて河口湖新倉掘抜ができたこと、また先人がその後ひらいてくれた未来の中で自分たちが生活していることを子どもたちは実感することができました。新倉地区のおいしい米作りに河口湖の水が活躍していること、また今後大雨で河口湖の水が増水した際には陰で洪水を防いでいる水路があることを今後も記憶に残してくれたらよいと思います。



④ 船津小
東電放水路 取水口見学の様子



⑥ 小立小
東電放水路 放水口で記念撮影

学校と地域の歴史の一コマ ～河口小創立 150 周年～



ドローン撮影の様子

河口小学校では、毎年6月1日を学校創立記念日としてお祝いしています。河口小学校が生まれたのは明治6年(1873年)のことです。今年、令和5年に150回目の創立記念日を迎えたことの記念として、全校児童と職員で記念の写真撮影を行いました。

「河」「口」「小」の三文字を校庭に人文字で描き、上空からドローンを使って撮影をしました。また、校庭に学年順に並んだ児童と職員一人ひとりの顔が映るよう、校舎

2階から撮影をしました。学校では、入学式や卒業式、校外学習の折などに記念写真を撮ります。今回の記念写真は、そのときどきの子どもたちの記念という意味に加え、河口小学校や河口地区の歴史を記す、一葉の写真になることでしょう。

また、写真撮影に先立って、11月12日に行われた河口地区公民館祭りでは、地域の皆様の協力により、創立150周年をお祝いする企画が実施されました。学校と地域との深い結びつきが感じられる素晴らしい催しでした。



校舎から記念撮影

よいお年をお迎えください

一年間で一番長い2学期が終わろうとしています。運動会、校外学習、修学旅行など、大きな行事や出来事がたくさんありました。一つ一つの経験を通して、子どもたちはより一段と成長できたことと思います。ぜひ2学期の頑張りを褒めていただきたいと思います。

冬休みの間に新年がやってきます。たくさんの人のおかげで今年一年過ごすことができたことに感謝し、新たな気持ちで新年を迎えましょう。

今学期も町教育センターへの御支援・御協力ありがとうございました。皆様、よいお年をお迎えください。

